

令和6年度 苫小牧市勇払公民館運営審議会議事録

令和6年7月12日午後1時30分

勇払公民館 第1研修室

【議事】

〈会長〉

それではさっそく議事に入らせていただきますが、会議を出来るだけ短時間で効率よく進めてまいりたいと思いますのでご協力よろしく申し上げます。

それでは、本日の議事としまして「令和5年度 勇払公民館事業実施状況及び利用状況」「令和6年度 勇払公民館事業実施計画」について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

それでは、お配りしております「令和6年度 苫小牧市 公民館 運営審議会 会議資料」に基づきまして ご説明させていただきます。

資料の1ページご覧いただけます。

はじめに①番 勇払公民館事業推進方針は、記載内容のとおりとなっておりますのでご一読をお願いします。

続きまして、②番 令和5年度 勇払公民館 事業実施状況及び利用状況についてご説明いたします。公民館事業は、表の左側記載の5つの事業に分けております。始めに、「主催事業」です。こちらは公民館自らが企画・運営しております講座の実施状況でございます。右側の備考欄に記載しておりますが、講座は「前期」・「後期」の区分で行っております。

内容としましては、「前期」は、5月に「やさしいパン作り講座」、「背骨コンディショニング講座」そして「レザークラフトで財布づくり」の3講座を、6月には「さあチャレンジ骨盤体操で脂肪燃焼！講座」、8月に「おいしいパンと一品料理講座」を行い、合わせて5講座で、全24回実施し、延べ155名の参加となっております。

「後期」は、9月に「さあチャレンジ骨盤体操で脂肪燃焼！講座」、10月に「背骨コンディショニング講座」、11月に「やさしいお菓子作り&Xmas ケーキ作り講座」と「レザークラフトで財布づくり」の、合わせて4講座で、全19回実施し、延べ133名の参加となっております。

開催講座は前年度に比べ1講座増となっておりますが、参加者は4名ほど減となっております。

次に、「サークル活動」事業でございます。公民館に登録する 各種文芸、スポーツ、趣味などの11団体によります利用状況です。

令和 4 年度に比べ団体数は 1 団体減少しており、活動回数は増えていますが参加人数は減となっております。

団体数の減につきまして主な要因としましては、高齢化によるサークルの会員数の減少ということでございます。

続きまして「貸館事業」です。これは町内会活動、一般のグループ、又は個人や会社等への貸し出しによる利用状況でございます。

令和 4 年度に比べ実施回数（利用回数でございますが）及び参加人数共に増加しております。

それぞれ増となりました要因といたしましては、ミニバスやバレーボールスクール、新体操スクールなど、運動系チーム団体による講堂の利用増によるものでございます。

次に「図書事業」、図書コーナーの利用状況でございます。

令和 4 年度に比べ実施回数（開館日数）は増となっておりますが参加人数（利用者数）は減となっております。令和 5 年度も中央図書館と連携を図り、定期的に古い図書の入替を行い、新しい図書を手に取れるよう整備を行っておりますが、年代別利用状況で見ますと 13 歳から 18 歳までは微増となっておりますが、12 歳までの児童、19 歳以上の一般の利用は減少という結果となっております。最近は小さなお子様を連れている方や子供たちが寄ってくれるようになってきてはおりますが、これからも、どの年代の方にも利用しやすい環境づくりに努めていければと考えております。

最後に、「展示・その他」でございます。これは「公民館まつり」の開催結果でございます。令和 4 年度に比べてステージ発表も再開したことからか、来場者は増となっております。

結果、来場者は 303 人で初日の来場人数としては、これまで開催してきました過去 10 年間と比較しましても最大の来場者数となっております。

以上全体では、下段にお示ししておりますように、実施回数は延べ 1,169 回、参加人数（利用者数）は 10,884 人の利用となり、令和 4 年度に比べますと実施回数（利用回数）では 106 回、参加人数では、1,554 人の増となっております。

次に資料 2 ページをお開き願います。

③番「令和 6 年度 勇弘公民館事業実施計画」についてご説明いたします。

本年度の勇弘公民館の予算総額は、1,661 万 9 千円となっております。内訳については資料をご参照ください。

次に2) 本年度の公民館事業内容につきましてご説明いたします。

始めに「学習活動の推進」を目的とし公民館独自で企画・主催しております事業です。開講月を基準として前期・後期の二区分で行っております。

前期講座に関しましては、5講座を、後期は4講座を実施する予定としております。

次に「芸術・文化活動の推進」を目的として「勇払地区総合文化祭・勇払公民館まつり」を行っております。今年度は10月6日（日）の開催を予定としておりまして、市の環境衛生部に協力願ひまして、ゼロカーボンに関するショーなどを実施する方向で考えております。

3 ページをお開き願ひます。

「市民の自主学習活動の推進」を目的としました、サークル活動、個人学習の育成・支援を行っております。

近年サークル活動を維持し継続していくことが困難という理由により登録サークルは減少傾向にあります。日程、活動回数の変更などの調整に臨機応変に対応できるよう、これからもサークルの方たちと情報共有を図って参りたいと考えております。

「個人学習の育成支援」の観点としては、図書コーナーにおいて読書など利用しやすい、また立ち寄りやすい環境作りを目指し、中央図書館との連携を今後も図って参ります。

次に「管理運営」でございますが、施設の維持管理が主な内容です。

長く安全に使用することができるよう、公民館の長期寿命化計画に基づきまして、機械類の更新やメンテナンスを今後も行っていく予定です。

最後に、「公民館運営」は、公民館運営審議会におきまして、公民館事業などを審議する会議の運営となっております。

以上、簡単ではございますが勇払公民館の活動状況などにつきまして、ご説明させていただきました。ご審議のほどよろしく願ひいたします。

〈会長〉

ただ今の事務局の説明について、ご意見やご質問等がございましたら願ひいたします。

〈委員〉

質問ではありませんが、日頃、吹矢サークルで講堂を使用しておりますが、掃除も行き届いております、実に気持ちよく使わせていただいております。今後ともよろしく願ひいたします。ありがとうございます。私の感じていることです。

〈事務局〉

日頃から公民館を大切にご使用いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

〈会長〉

よろしいでしょうか。その他ございませんか。

〈委員〉

令和 5 年度の貸館事業の中で、企業への貸し出しとありますが、どのような企業なのでしょうか、また、町内会活動というのは自治会でしょうか。

〈事務局〉

企業でございますが、勇払地区近隣の大手企業が月に何度か研修で使用しています。また、町内会活動ですが、勇払自治会および勇払商工会なども含んでおります。

〈会長〉

よろしいでしょうか。その他ございませんか。

〈委員〉

貸館事業の中で、近隣企業が勇払公民館を使用しているということですが、どういう理由から勇払公民館を使用しているのでしょうか。

〈事務局〉

以前、企業に確認したことがございます。企業側では苫小牧市内に貸館可能な施設が、いくつかあることは確認しているということですが、会社に近い沼ノ端交流センターと勇払公民館を対象とし、空き状況により使い分けしているということでした。

〈会長〉

よろしいでしょうか。その他ございませんか。

〈委員〉

貸館事業についてですが、貸室を使用するにあたり、基本的に使用料がかかると思いますが、かからない場合もあると聞いています。どの様な内容となっているのでしょうか。

〈事務局〉

原則、個人や企業などの使用に関しては使用料を徴取しますが、減免規定があり、公的機関や自治会、商工会や学校関係などで使用する場合は免除となります。

〈会長〉

よろしいでしょうか。その他ございませんか。

〈委員〉

図書事業に関して12歳以下の利用が減少しているという説明がありましたが、立地的に地域に密着しており、ほとんどの方が歩いて行ける良い環境にあると思います。小学校では子供たちに朝読書を行っており、勇払公民館の図書コーナーでは2週間無料で本が借りられ、加えて様々な知識も得られるということで、子供たちに図書コーナーの利用を促したいが、具体的に年間何人位の利用があったのでしょうか。

〈事務局〉

令和5年度の0歳から12歳までの利用は年間25人、13歳から18歳までは7人、19歳以上が1008人です。参考に令和4年度は、0歳から12歳までの利用は年間38人、13歳から18歳までは2人、19歳以上が1050人という状況でした。

〈委員〉

図書館の利用の仕方として、借りる本を決めて行く以外にも、図書館の様々な本を見ている中で、つい手にとりたくなるような本を見つける場面があると思います。

まずは図書館に足を運ぶというきっかけで、利用人数も変わるのではないかと思います。

これから小学校は夏休みに入ります。児童たちに図書コーナーの利用を促していきたいと思います。

〈事務局〉

公民館の図書コーナーでは、市内の図書施設と同様に、借りたい図書の予約もできますし市内図書館への返却も可能です。大いに利用していただければと思います。

〈会長〉

よろしいでしょうか。他にございませんか。

〈意見なし〉

それでは、無いようですので、質疑終了といたします。皆様のご協力ありがとうございました。

以上